

新エネルギービジョンの導入目標と導入状況

	当初(H23年度:2011年度)		現状(H25年度:2013年度 H26年2月末時点)		目標			
					4年後(H27年度:2015年度)		10年後(H33年度:2021年度)	
	設備規模 (kW)		設備規模 (kW)		設備規模 (kW)		設備規模 (kW)	
太陽光発電	25,988	住宅・事業所 25,988 kW (国の補助実績等により推計) メガソーラー 0	101,062	小規模太陽光 50,583 kW (国の補助実績等により推計) 大規模太陽光 50,479 kW うちメガソーラー 17,388 kW うち10kW以上1MW未満 33,091 kW	111,750	小規模太陽光 50,000 kW (年間1,500件×4年×平均4kW増) 大規模太陽光 61,750 kW うちメガソーラー 28,000 kW うち10kW以上1MW未満 33,750 kW	191,750	小規模太陽光 86,000 kW (年間1,500件×10年×平均4kW増) 大規模太陽光 105,750 kW うちメガソーラー 42,000 kW うち10kW以上1MW未満 63,750 kW
風力発電	36,450	7箇所、40基	36,450	7箇所、40基	71,450	35,000kW増 (2,500kW級 14基増)	151,000	80,000kW増 (2,000kW級 40基増)
小水力発電	2,459	7箇所	2,459	7箇所	2,459	—	3,800	合計1,300kW増 800kW(地藏寺川) + 500kW(努力目標)
木質バイオマス発電	0	専焼施設なし	0	専焼施設なし	12,300	・専焼12,300kW増 全て県内木質燃料使用を想定	17,300	・専焼5,000kW増 全て県内木質燃料使用を想定
	133,000	混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率を約0.6%とし電力量のみ反映	162,500	・バイオマス発電29,500kW(※) ・混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率を約0.6%とし電力量のみ反映	153,000	・混焼20,000kW増 ・混焼133,000kW 県内木質燃料使用約0.6%とし電力量のみ反映	153,000	・混焼20,000kW増 ・混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率(約0.6%)とし電力量のみ反映
計	64,897	kW(木質混焼分を除く。)	139,971	kW(木質混焼分を除く。)	197,959	kW(木質混焼分を除く。)	363,850	kW(木質混焼分を除く。)

新エネ発生電力量(推計)注A	107 百万kWh	186 百万kWh	334 百万kWh	595 百万kWh
県内電力需要(平成18~22年度平均)B	4,674 百万kWh	4,674 百万kWh	4,674 百万kWh	4,674 百万kWh
A/B=	2.3 %	4 %	7.1 %	12.7 %

※バイオマス発電(1施設)
混焼29500kW
【主燃料】PKS(パーム椰子殻) 【補助燃料】石炭

注)新エネ発生電力量 = 発電種別毎の規模×稼働時間×設備利用率※にて算出
※設備利用率:太陽光12%、風力20%、小水力61%、バイオマス70%で算出